

# 会 告

社団法人 土 木 学 会

行事案内	月 日	行 事 名	場 所	備 考
本 部	1月28日(火) ～29日(水)	第3回土木計画学シンポジウム	土木学会	1号6ページ参照
	1月31日(金) ～2月1日(土)	第5回衛生工学研究討論会	同	1号7 "
	2月7日(金) ～8日(土)	第13回水理講演会	東 京	1号8 "
	2月27日(木) ～28日(金)	第5回岩盤力学に関するシンポジウム	土木学会	1号9 "
	4月1日(火)	第2回構造用軽量骨材に関するシンポジウム	同	1号10 "
	7月15日(火) ～16日(水)	第10回地震工学研究発表会	同	1号9 "
北海道支部	2月14日(金)	第5回講演会	札幌市	1号11 "
	2月28日(金)	研究発表会	同	1号11 "
	3月12日(水)	講習会	同	1号12 "
東北支部	2月20日(木)	講演会	仙台市	1号12 "
	2月21日(金)	研究発表会	同	1号12 "
関東支部	1月20日(月)	映画会	埼玉県	12号10 "
	2月14日(金)	「東京湾の開発」講演会	土木学会	1号12 "
	3月26日(水)	見学会	東 京	1号13 "
関西支部	1月18日(土)	海外事情講演会	大阪市	12号10 "
	1月18日(土)	会員懇親会	同	12号11 "
	2月25日(火) ～26日(水)	工事安全対策に関する講習会	同	1号13 "
	2月25日(火)	若い会員懇親パーティ(第2回)	同	1号14 "
	3月18日(火) ～19日(水)	工程管理に関する講習会	同	1号14 "
	3月18日(火)	若い会員懇親パーティ(第3回)	同	1号14 "
	5月11日(日)	関西支部年次学術講演会	神戸市	1号15 "
中四支部	2月5日(水)	講演会・講習会	広島市	1号15 "
西部支部	2月23日(日)	支部総会	福岡市	1号16 "
	2月23日(日)	研究発表会	同	1号16 "
そ の 他	1月25日(土)	不等質の流れのシンポジウム	土木学会	1号6 "
	2月8日(土)	河川災害研究の現況とその将来に関するシンポジウム	東 京	1号8 "
	2月26日(日) ～27日(月)	第7回原子力総合シンポジウム	同	1号18 "
お 知 ら せ	■土木学会論文集名称変更			1号2 "
	■「土木学会誌」広告料金改訂について			1号2 "
	■昭和43年度土木学会賞候補ならびに吉田研究奨励金候補の募集			1号3 "
	■第10回地震工学研究発表会講演募集			1号9 "
	■国際会議のお知らせ			1号19 "

## 土木学会論文集の名称変更

社団法人 土 木 学 会

表記の件につき、昭和 43 年 12 月 19 日の理事会におきまして、161 号より下記のように実施することに決まりましたのでお知らせします。

**1. 名称を「土木学会論文報告集」と改めます。**

学問技術に役立つ研究・調査・工事報告に関する論文および同資料などをより広くかつ積極的に掲載することとし、名称も上記のものに改めることにします。

**2. 英訳名称を「Proceedings of the Japan Society of Civil Engineers」と改めます。**

前項の名称変更に伴って、その英文名称を従来の「Transactions of the Japan Society of Civil Engineers」から上記のように改めます。

付 記：論文集編集委員会では、会員の御期待にこたえうるよう論文報告集のあり方についての検討を続けています。詳細は決定次第お知らせしますが、御意見がありましたら同委員会までお寄せ下さい。

## 「土木学会誌」広告料金改訂について

本学会は大正 3 年 11 月創立以来、本年で 55 周年を迎えることとなります。この間、学会の看板ともいべき「土木学会誌」は、土木技術の進展とともに成長を続け、内容の充実、発行部数の飛躍的増加となって、学会の軸となって発展して参りました。これもひとえに関係各位のご協力の賜と深く感謝いたしております。しかしながら今後よりいっそう誌面の刷新をはかり内容を充実してゆくことは、最近の諸物価の高騰、印刷経費の著しい値上がり、取材費の増大を考えた場合、非常に困難となって参りました。つきましては利用者各位にはまことに恐縮ですが、44 年 4 月号より 4 年ぶりに広告料金を下記のとおり改訂いたしますので、よろしくご賢察、ご協力のほどをお願い申し上げます。

1 ページあたり 広告料金

	表紙 2	表紙 3	表紙 4	後 付	後 付	色 紙	綴込(持込み)
改訂後	70 000	60 000	80 000	1 ページ 45 000	半ページ 23 000	50 000	1 枚 60 000

\* 学会監修出版物は別に規定があり 50 000 円となります。

**橋** 1967—1968 土木学会田中賞設立を機会にわが土木界に始めて誕生した橋に関する美しい年報ができました。

定 価	1 500 円	編 集	土木学会橋梁構造委員会橋梁年報編集小委員会
ほかに送料	150 円	発 行	社団法人土木学会
		体 裁	A 4 判 82 ページ / 一部カラー刷
		内 容	本州四国連絡橋技術調査報告書の概要 / 福島第 1 高架橋 / 名護屋大橋 < 以上受賞作品の紹介 > / 鋼橋 10 橋の紹介 / コンクリート橋 6 橋の紹介 / 1967 年 竣工主要橋梁一覧 / 田中賞受賞論文の紹介 / 田中賞選考経過

代金に送料を添えて  
新宿区四谷 1 丁目・  
土木学会刊行物係へ  
申込んで下さい

## 昭和43年度土木学会賞候補ならびに吉田研究奨励金候補の募集

昭和43年10月

社団法人 土 木 学 会

本年度土木学会賞候補の募集ならびに吉田研究奨励金候補の募集をいたします。表彰規程および下記募集要項をご参照のうえふるって推薦または応募されますようお願いいたします。ただし、土木学会賞のうちの功績賞については公募いたしません。

### ◎土木学会賞候補募集要項

種別	項目	技 術 賞	論 文 賞	吉 田 賞	田 中 賞
候補対象		土木事業の計画、設計、施工等に関し、土木技術の進展に顕著な貢献をなした画期的な総合的業績、もしくは一部の業績	(論文賞) 土木学会誌、論文集、その他の刊行物に研究、計画、設計、施工、考案などに関する論文を発表し、これが土木工学における学術、技術の進歩発展に独創的な業績をあげ、顕著な貢献をなしたもの (論文奨励賞) 土木学会誌、論文集、その他の刊行物に研究、計画、設計、施工、考案などに関する論文を発表し、これが土木工学における学術、技術の進歩発展に寄与し、独創性及び将来性に富むもので受賞者の年齢が原則として受賞時(44年5月末日)に満36才未満であるもの。	コンクリート、鉄筋コンクリート、プレストレストコンクリート、およびこれらに関連する優秀な研究、工事等を行なったものに授与し、その業績が土木学会の刊行物、コンクリートに関する学・協会の刊行物、その他これに類似の刊行物に研究論文、設計、施工、考案などの報告またはそれらの要旨が登載されたものの中から選ばれる。	(論文) 橋梁およびその他の構造物に関する優秀な研究成果を対象とし、公刊されたものの中から選ばれる。 (作品) 橋梁およびそれに関連する構造物で、計画、設計、施工、美観などの面においてすぐれた特色を有する物を対象とし、つぎの各グループについて選考する。 (1) 長大橋梁 (2) 中小橋梁 (3) その他特殊橋梁および橋梁に関連するもの
受賞候補者		個人または団体	本会会員に限る。 過去の土木賞受賞者は既受賞者として重ねて同一の賞の候補者となることはできない。共著者(共同研究者)の中に非会員、既受賞者、その他受賞候補者になることができないものを含まれてはならないが、受賞候補者に加えることはできない。	個人または研究グループ。 ただし、外国国籍のものは、本会会員であって、その候補対象を土木学会誌、論文集、その他土木学会の刊行物に発表した者に限る。また、原則としてすでに吉田賞を授与されたものを除く。	(論文) 個人またはその複数。 (作品) 作品自身を対象とするもので受賞候補者はない。
候補の範囲		昭和42年1月1日から昭和43年12月31日までの間にできた業績であって日本国内において実施されたものに限る。	昭和42年1月1日から、昭和43年12月31日までの間に発表されたもので、土木学会誌、論文集、その他土木学会の刊行物に登載されたものを含む。他、他学・協会、大学、官公庁、会社などの刊行物に登載されたものを含む。 なお、同一の問題につき当該期間以前においても論文が発表されている場合には前提に該当する論文にその過去における発表論文を加えて総合題目として候補の対象とすることもできる。	(論文) 論文賞・吉田賞に同じ (作品) 昭和42年1月1日から昭和43年12月31日までの間に完成した構造物で日本人により計画、設計あるいは施工されたものに限る。 なお、完成の時期については、原則的には普通の橋梁等では供用開始の時、その他一連の工事の一部としての橋梁等の構造物には、そのもの自身の完成したと見做される時とする。	
推薦(応募)の方法		推薦者は会員、支部、土木事業に関連する学・協会・法人とする。 推薦者は別に定める推薦書、候補業績の要旨各1部を提出する。 なお、当該業績に関する参考資料を添付することを妨げない。	推薦者は会員、支部その他一般とするが、会員自からの応募であってもよい。 推薦者は別に定める様式による推薦書1部を提出する。候補論文が土木学会誌、論文集以外に発表されている場合は推薦書に添えて本文および審査に必要な資料部6と別に定める様式による候補論文要旨1部を提出しなければならない。	推薦者は会員、支部、その他一般とする。 推薦者は別に定める様式による推薦書1部を提出する。候補論文が土木学会誌、論文集以外に発表されている場合は、推薦書に添えて審査に必要な資料20部を提出しなければならない。 (作品) 推薦者は会員、支部、その他一般とする。 推薦者は別に定める推薦書1部を提出する。	
(推薦書および関係用紙は土木学会本部または各支部に準備してありますから必ずその用紙を使用して下さい)					
審査		表彰委員会において行なう。ただし、審査の途上において推薦者またはその代理人に出席を求め説明をうけることがある。	論文賞選考委員会において行なう。なお、必要あるときはさらに資料30部の追加提出を求めることがある。	吉田賞選考委員会において行なう。	田中賞選考委員会において行なう。なお、必要あるときはさらに関係資料の提出を求めることがある。
表彰		第55回通常総会において行ない、賞状、賞牌を贈る。	第55回通常総会において行ない、賞状、賞牌、賞金を贈る。	第55回通常総会において行ない、賞状、賞牌、賞金を贈る。	第55回通常総会において表彰する。
締期切日		昭和44年1月20日			
提出先		東京都新宿区四谷1丁目 土木学会表彰委員会	土木学会論文賞選考委員会	土木学会吉田賞選考委員会	土木学会田中賞選考委員会

土木学会表彰規程

(総則)

第1条 土木学会第34条による表彰はこの規程による。

(賞の種類)

第2条 表彰は次の土木学会賞(総称)を授与して行なう。

1. 功績賞
2. 技術賞
3. 論文賞
4. 吉田賞
5. 田中賞

(功績賞)

第3条 功績賞は土木学会の会員であって、土木工学の進歩、土木事業の発達、土木学会の運営に顕著な貢献をなしたと認められるものに授与する。

(技術賞)

第4条 技術賞は土木事業の計画、設計、施工等に関し、土木技術の進展に顕著な貢献をなしたと認められた画期的な業績に授与する。

(論文賞)

第5条 論文賞は本会会員であって、土木学会誌、論文集、その他の刊行物に研究、計画、設計、施工、考案などに関する論文を発表し、これが土木技術の進展に顕著な貢献をなしたと認められた画期的な業績に授与する。

- (2) 論文奨励賞は本会会員であって、土木学会誌、論文集、その他の刊行物に研究、計画、設計、施工、考案などに関する論文を発表し、これが土木工学における学術、技術に関する進歩発展に寄与し、独創性と将来性に富むものと認められ、受賞者の年齢が原則として受賞時に満36才未満であるものに授与する。

(吉田賞)

第6条 吉田賞はコンクリート、鉄筋コンクリート、プレストレストコンクリートおよびこれらに関連する優秀な研究、工事等を行なったと認められるものに授与し、その業績が土木学会の刊行物、コンクリート、鉄筋コンクリートおよびプレストレストコンクリートに関する学・協会の刊行物、その他これに類似の刊行物に研究論文、設計・施工・考案等の報告またはそれらの要旨が掲載されたものの中から選ばれる。

(田中賞)

第7条 田中賞は次の論文ならびに作品に授与する。

(1) 論文

橋梁およびその他の構造物に関する優秀な研究結果を対象とし、公刊されたものの中から選ばれる。

(2) 作品

橋梁およびそれに関連する構造物で、計画、設計、施工、美観などの面においてすぐれた特色を有すると認められる物を対象とし、長大橋梁、中小橋梁、その特殊橋梁および橋梁に関連あるもののグループ別には選ばれる。

(委員会)

第8条 土木学会賞を選考するため次の委員会をおく。

1. 表彰委員会
2. 論文賞選考委員会
3. 吉田賞選考委員会
4. 田中賞選考委員会

(2) 表彰委員会は功績賞および技術賞の受賞候補の選考をなし、論文賞、吉田賞および田中賞選考委員会の具申を受けて、必要に応じて各賞間の調整を行ない、土木学会賞受賞候補を決定する。

(3) 論文賞選考委員会は論文賞候補の選考を行なう。

(4) 吉田賞選考委員会は吉田賞候補の選考を行なう。

(5) 田中賞選考委員会は田中賞候補の選考を行なう。

(6) 前記各委員会の構成、運営、その他については別に内規で定める。

(賞の決定、表彰の時期・方法)

第9条 土木学会賞は理事会において決定し、表彰は原則として毎年1回通常総会において賞牌、賞状等を授与して行なう。

◎吉田研究奨励金候補者の募集

1. 候補対象

コンクリート、鉄筋コンクリートおよびプレストレスト コンクリートならびにこれらに関連する研究に従事するもので、特に独創性と将来性に富むと認められたもの。ただし、授与されるものが、昭和8年6月1日以降出生のものに限り、かつ、原則として同一研究計画に対してすでに吉田研究奨励金を授与されたものを除く。

2. 募集の題目

(1) 要望課題

- ① 鉄筋コンクリート部材の極限設計に関する研究
- ② 高張力異形鉄筋の有効な使用方法に関する研究
- ③ 軽量コンクリートに関する研究
- ④ 砕石コンクリートに関する研究

(2) 自由課題

(注) 来年度の要望課題としては②と④を「プレキャスト コンクリート部材の接合に関する研究」とコンクリート内の微細なひびわれに関する研究」に変更する。なお、これ以外に必要と思われる課題を追加することもある。

3. 募集の方法

日本の国籍を有する個人または研究グループの応募による。

4. 研究成果の報告

研究成果は文書により吉田賞選考委員会に提出するほか、昭和45年10月中旬施行の第25回年次学術講演会において吉田研究奨励金を授与された研究であることを明らかにして発表しなければならない。

5. 応募の方法

一定様式による研究計画書1部を提出する。

(計画書の用紙は土木学会本部および各支部に準備してありますから、必ずその用紙を使用して下さい)

6. 審 査

吉田賞選考委員会において行なう。

7. 締切期日

昭和44年1月20日

8. 提 出 先

東京都新宿区四谷1丁目 土木学会吉田賞選考委員会

◎昨年度の土木学会賞受賞者 (敬称略)

功 績 賞	草 間 偉	土木工学ならびに土木事業の進展
	沼 田 政 矩	同
技 術 賞	首都高速道路公団	首都高速道路の建設 (羽田線・目黒線・渋谷線・代々木線・環状線)
論 文 賞	天 野 光 三	交通施設整備の地域経済の効果に関する研究
論文奨励賞	和 田 明	入江内における冷却水取・放水の研究 (総合課題)
	合 田 良 実	直柱に働く衝撃碎波力の研究
		有限振幅重複波ならびにその波圧に関する研究
吉 田 賞	岡 村 甫	高張力異形鉄筋の使用に関する基礎研究
田 中 賞	伊 藤 学	Response of Suspension Bridges to Moving Vehicles
	名 護 屋 大 橋	
	福 島 高 架 橋	(阪神高速道路・大阪池田線)

### 第3回土木計画学シンポジウム

◀ 1月28日(火)~29日(水) ▶

土木計画学研究委員会はすでにシンポジウムを2回、講習会を1回開催し、土木計画学に関する研究をすすめて参りましたが、今般第1回および第2回のシンポジウムの内容を総括的にとらえ、今後の発展を計るべく、「土木計画における計量化の考えかたと問題点」を中心に第3回土木計画学シンポジウムを開催することとなりました。会員各位のご参加を希望します。

1. 期 日：1969年1月28日(火)~29日(水)
2. 会 場：土木学会図書館講堂/東京都新宿区四谷1丁目/電話 03-351-5138/交通・国電四谷駅下車2分，地下鉄四谷駅下車4分
3. 課 題：土木計画における計量化の考えかたと問題点
4. 内 容：[第1部] 土木計画の考えかた——第1回および第2回土木計画シンポジウムの整理と検討  
司会 八十島義之助(東大)/発表 新谷洋二(東大)/討論 委員会幹事  
[第2部] 土木計画における計量化の考えかたと問題点  
(第1日) 司会 内田一郎(九大)/山根 孟(建設省)/枝村俊郎(神戸大)  
小池 力(運輸省)/鈴木忠義(東工大)/菊池 宏(国鉄)  
(第2日) 司会 岩佐義朗(京大)/島田静雄(名大)/末石富太郎(京大)  
伊藤 博(経企庁)  
[第3部] 特別講演 渡辺 茂(東大・機械工学科)  
[第4部] 総括討論： 小川博三(北大)/八十島義之助(東大)/内田一郎(九大)  
岩佐義朗(京大)  
[第5部] 総括討論のまとめ 小川博三(北大)  
開会あいさつ 鈴木雅次/閉会あいさつ 米谷栄二
5. 定 員：150名
6. 参 加 費：会員 1800円，会員外 2000円
7. 申 込 方 法：希望者は ①氏名，②勤務先，③連絡先，④会員区分を明記，参加費同封のうえ現金書留便でお申込み下さい。
8. 申 込 先：土木学会事務局編集課(東京都新宿区四谷1丁目・郵便番号 160)
9. 締 切：1969年1月10日

### 不等質の流れのシンポジウム

◀ 1月25日(土) 10.00~ ▶

1. 開 催 日：1969年1月25日(土) 10.00~16.40
2. 共 催：(順不同) 日本学術会議水力学 水理学研究連絡委員会・化学工学協会・造船学会・土木学会・日本海洋学会・日本機械学会・日本気象学会・日本建築学会・農業土木学会
3. 会 場：土木学会土木図書館講堂(東京都新宿区四谷1丁目・外濠公園入口)
4. 内 容：題目数：8，講演時間：40分(25分+討論15分)  
10.00~10.10 開会あいさつ  
10.10~10.50 (1) 河口密度流の2,3の性質について 運輸省港湾技術研究所 工博 浜田 徳一  
10.50~11.30 (2) 淡水水界面における乱れ拡散に関する研究 東北大学工学部 工博 岩崎 敏夫  
11.30~12.10 (3) 流砂を伴う開水路の流れ 東京工業大学工学部 工博 吉川 秀夫  
13.00~13.40 (4) 泥水の管抵抗について 東京教育大学農学部 農博 岸上 定男  
13.40~14.20 (5) 液体機械内の気泡混合流 名古屋大学工学部 工博 村上 光清  
14.20~15.00 (6) 液体機械におけるスーパーキャピテーション 東北大学高速力学研究所 工博 齊藤 清一  
15.10~15.50 (7) 不均一流れにおける船用プロペラのキャピテーション 運輸省船舶技術研究所 伊藤 達郎  
15.50~16.30 (8) 衝撃波を伴う不等質の流れ 京都大学工学部 工博 神元 五郎  
16.30~16.40 閉会あいさつ

## 第5回衛生工学研究討論会

◀ 1月31日(金)~2月1日(土) ▶

第5回衛生工学研究討論会を下記により開催いたしますので多数ご参加下さるようご案内いたします。

1. 期 日：1969年1月31日(金)、2月1日(土)の2日間
2. 会 場：土木学会土木図書館講堂
3. 参加費：無 料
4. 講演論文集：当日実費頒布
5. プログラム：

### 第1日：1月31日(金)

9.50~10.00	開会挨拶	衛生工学委員会委員長 板倉 誠
10.00~10.30	(1) 河川の自浄作用および汚濁負荷率率について(第1報)	建土研 村上 健
10.30~11.00	(2) 重金属元素による水質汚濁に関する研究 (豊平川水系におけるカドミウムおよび亜鉛について)	北大 那須義和・江口静子
11.00~11.30	(3) 河海の自浄作用に関する研究(1) 自浄作用におよぼす塩分および光の影響	山口大 中西 弘・浦 勝・松尾 信
11.30~12.00	(4) 海域の汚濁物質受容限界について	京大 岩井重久・井上頼輝
12.00~12.40	(1)~(4) 討 議	
12.40~13.40	昼食休憩	
13.40~14.10	(5) 濁度予測に関する研究	北大 丹保憲仁・住宅公団 工藤正寿
14.10~14.40	(6) 水系水質の変化とその予報に関する研究	京大 合田 健・宗宮 功・西沢 稔
14.40~15.00	(5)~(6) 討 議	
15.00~15.10	休 憩	
15.10~15.40	(7) 仲練、製釘工場群からの排水の共同除害施設の設計に関する調査	建土研 柏谷 衛
15.40~16.10	(8) 硝酸塩を酸素源とした生物処理法(第1報)	栗田工業 宮地有正・杉本和雄
16.10~16.40	(9) 酸化と吸着を分離した活性汚濁法の数理モデル	公衆衛生院 南部特一
16.40~17.10	(7)~(9) 討 議	

### 第2日：2月1日(土)

10.00~10.30	(10) 弾力性概念による需要水量と浄水場設計の分析について	京大 末石富太郎・住友 恒
10.30~11.00	(11) モデル化された各級都市における消火栓設置による水道管費用の増加に関する研究	万博 保野健治郎
11.00~11.30	(12) 傾斜板沈でん池について	中央大 内藤幸穂・首藤伸夫
11.30~12.00	(13) 凝集沈殿における沈降特性	早大 遠藤郁夫・吉川敏孝
12.00~12.40	(10)~(13) 討 議	
12.40~13.40	昼食休憩	
13.40~14.10	(14) 汚泥消化におよぼす重金属塩類の影響	東北大 松本順一郎・野池達也
14.10~14.40	(15) 汚泥消化の高率化に関する研究	早大 遠藤郁夫・近藤千秋
14.40~15.10	(16) 雨天時下水排除の合理化へのアプローチ	建土研 稲場紀久雄・横尾得位
15.10~15.40	(14)~(16) 討 議	
15.40~16.00	休 憩	
16.00~16.30	(17) セルローズ性物質の水分がその燃焼火移り速度に及ぼす影響	京大 岩井重久・日立造船 春山 鴻
16.30~17.00	(18) ゴミ焼却プラントの操作因子に関する解析	京大 岩井重久・平岡正勝・高内政彦・高月 紘
17.00~17.30	(19) 汚泥の流動性に関する研究	早大 遠藤郁夫・伊藤三郎
17.30~18.00	(17)~(19) 討 議	
18.00~18.05	閉会挨拶	板倉 誠

### 6. 懇 親 会

第1日討論会終了後懇親会を開催する予定です。申込は当日会場にて受付ます。

## 土木図書館蔵書目録 第1集・第2集

先に創立50周年記念事業の一環として建設されました土木図書館の蔵書目録第1集・第2集が土木図書館運営委員会の協力を得て刊行されておりますのでご利用下さい。

内 容：	図書館規程/同利用規定/分類記号/和書/洋書/国際会議論文集/雑誌/土木図書館フィルムライブラリー			
体 裁：	第1集 A5判	タイプ印刷	236 ページ	第2集 タイプ印刷 71 ページ
定 価：	700 円	会員特価：600 円	200 円	会員特価：150 円
送 料：	100 円		50 円	

## 第 13 回水理講演会

◀ 2 月 7 日 (金)~8 日 (土) ▶

第 13 回水理講演会を下記により開催いたしますので多数ご参加下さるようご案内いたします。

1. 期 日: 1969 年 2 月 7 日 (金), 8 日 (土)

2. 会 場: 発明会館 (東京都港区芝西久保明舟町 17・地下鉄虎ノ門下車徒歩 3 分)

3. 主 催: 土木学会水理委員会

4. プログラム: 第 1 日: 2 月 7 日 (金)

- |             |                                  |                               |
|-------------|----------------------------------|-------------------------------|
| 9.15~9.30   | 開会あいさつ                           | 土木学会水理委員会委員長 林 泰造             |
| 9.30~9.50   | (1) 貯水池群の統合管理へのシミュレーション手法の応用     | 東京大学工学部 高橋 裕・竹内邦良・○大熊 孝       |
| 9.50~10.10  | (2) 河川における洪水伝播のシミュレーション          | 電力中央研究所 ○是枝 忍・秋元 保・丸岡 計       |
| 10.10~10.30 | (3) 情報理論的水文学の一手法 (II) 非線型流出系への適用 | 東京工業大学工学部 日野 幹雄               |
| 10.30~10.45 | 討 議 (1)~(3)                      |                               |
| 10.45~11.05 | (4) 利水を対象とした流量時系列の解析について         | 大阪大学工学部 室田 明・○神田 徹            |
| 11.05~11.25 | (5) 電算組織による洪水予報                  | 建設省東北地方建設局 井田至春・木谷 正・○佐々木賢一   |
| 11.25~11.45 | (6) ナイキスト図による河川流出モデルの適合性の判別      | 北海道大学工学部 山岡 勲・○藤田勝博           |
| 11.45~12.00 | 討 議 (4)~(6)                      |                               |
| 12.00~13.00 | 昼 食・休 憩                          |                               |
| 13.00~13.20 | (7) 水利用計画における農業用水量の推定法           | 東京大学農学部 ○岡本 雅美・華山 謙           |
| 13.20~13.40 | (8) 流況曲線の一つの表現法                  | 東京都立大学工学部 丸井 信雄・KK大林組 ○荒井 徳昭  |
| 13.40~14.00 | (9) 浮遊による河床変動                    | 建設省土木研究所 土屋 昭彦・○星畑 国松         |
| 14.00~14.20 | (10) 特性曲線法による河床変動計算について          | 建設省土木研究所 須賀 堯三                |
| 14.20~14.35 | 討 議 (7)~(10)                     |                               |
| 14.35~14.50 | 休 憩                              |                               |
| 14.50~15.10 | (11) 浸透層よりの定常選択取水について            | 京都大学工学部 岩佐 義明・京都大学大学院○武内 等    |
| 15.10~15.30 | (12) 非圧縮性ニュートン流体の非ダルシー流          | 東京大学農学部 岡本 雅美                 |
| 15.30~15.50 | (13) 土壌間隙空気の圧縮を考慮した鉛直浸透          | 神戸大学工学部 田中 茂                  |
| 15.50~16.10 | (14) 水で満たされていない集水暗きょの取水量について     | 九州大学工学部 上田年比古・○杉尾 哲           |
| 16.10~16.30 | (15) 空隙規模の分布による透水係数の評価について       | 大阪大学工学部 室田 明・大阪府立工業専門学校 ○佐藤邦明 |
| 16.30~16.50 | 討 議 (11)~(15)                    |                               |

第 2 日: 2 月 8 日 (土)

- |             |                                 |                                   |
|-------------|---------------------------------|-----------------------------------|
| 9.20~9.40   | (16) 河川の平均流速公式について              | 徳島大学工学部 ○杉尾捨三郎                    |
| 9.40~10.00  | (17) 水平噴流による洗掘機構について (第 1 報)    | 山口大学工学部 ○齊藤 隆・九州大学工学部 椿 東一郎       |
| 10.00~10.20 | (18) 密度差を有する 2 次元水平噴流           | 東京大学工学部 玉井 信行                     |
| 10.20~10.30 | 討 議 (16)~(18)                   |                                   |
| 10.30~10.50 | (19) 移動河床に生ずる二, 三の不安定現象         | 中央大学理工学部 ○林 泰造・川上 克巳              |
| 10.50~11.10 | (20) ポリマー稀溶液に関する流体力学的な二, 三の実験   | 東京工業大学工学部 ○日野 幹雄・長谷川佐代子           |
| 11.10~11.30 | (21) 火力または原子力発電所より放出される温噴水の湾内拡散 | 中央大学理工学部 林 泰造・首藤 伸夫・中央大学大学院 ○吉田 茂 |
| 11.30~11.45 | 討 議 (19)~(21)                   |                                   |

◎講演集: 参加者の便宜のため当日会場にて実費頒布いたしますから, ご必要の方はお買め下さい (B5 判, 130 ページ程度, 価格未定)。

## 河川災害研究の現況とその将来に関するシンポジウム ◀ 2 月 8 日 (土) 13.00~ ▶

日本学術会議水特別委員会および災害科学総合研究班河川分科会主催, 土木学会水理委員会後援のもとに標記シンポジウムを下記により開催いたしますので, 多数ご参加下さるようご案内いたします。

1. 日 時: 1969 年 2 月 8 日 (土) 13.00~17.00

2. 会 場: 発明会館 (東京都港区芝西久保明舟町 17)

3. プログラム:

- |              |                |
|--------------|----------------|
| (1) 地形の変化と災害 | 東京都立大学教授 中野 尊正 |
| (2) 流路の変遷と災害 | 京都大学教授 芦田 和男   |
| (3) 洪水の災害    | 名古屋大学教授 西畑 勇夫  |



## 第 5 回岩盤力学に関するシンポジウム

◀ 2 月 27 日(木)~28 日(金) ▶

標記シンポジウムを下記により開催いたしますので、ふるってご参加下さるようご案内いたします。

1. 期 日：1969 年 2 月 27 日(木)、28 日(金)
2. 会 場：土木学会土木図書館講堂(東京都新宿区四谷 1 丁目)
3. 主 催：土木学会岩盤力学委員会
4. プログラム：

### 第 1 日：2 月 27 日(木)

- |             |  |  |
|-------------|--|--|
| 9.30~9.40   | 開会あいさつ   |  |
| 9.40~10.05  | (1) S 波の測定による岩盤の強度の考察について                          | 土木学会岩盤力学委員会委員長 岡本 舜三<br>鹿島建設 佐藤忠五郎・〇雑喉 謙・西藤立雄・遠西光男 |
| 10.05~10.30 | (2) 高速荷重下における岩石の力学的挙動                              | 東北大学工学部 小林 良二                                      |
| 10.30~10.50 | 討 議 (1)~(2)  |  |
| 10.50~11.00 | 休 憩  |  |
| 11.00~11.25 | (3) 長大吊橋基礎岩盤調査の一例—関門吊橋の場合—                         |  |
|             | 建設省土木研究所 〇吉田 巖・埼玉大学理工学部 吉中竜之進・日本道路公園関門架橋工事事務所 大橋昭光 |  |
| 11.25~11.50 | (4) 変形試験時における岩盤中のひずみ分布                             | 建設省四国地方建設局 岸本貞男・建設省土木研究所 安江朝光・〇小林茂敏                |
| 11.50~12.10 | 討 議 (3)~(4)  |  |
| 12.10~13.00 | 昼 食・休 憩  |  |
| 13.00~13.25 | (5) モルタルのような脆性材料の変形特性                              | 名古屋大学工学部 川本肌万・〇富田和政・秋本昌胤                           |
| 13.25~13.50 | (6) ひびわれ体の応力解析法の一例                                 | 電力中央研究所 北原 義浩                                      |
| 13.50~14.20 | 討 議 (5)~(6)  |  |
| 14.20~14.30 | 休 憩  |  |
| 14.30~14.55 | (7) 岩石の吸水による強度低下、吸水膨脹、クリープの増加—珪岩、泥岩および粘板岩の場合—      |  |
|             | 電力中央研究所 〇金川 忠・中新井 克子                               |  |
| 14.55~15.20 | (8) 亀裂の強度に及ぼす影響について                                | 東北大学工学部 佐武 正雄・〇田野 久貴                               |
| 15.20~15.45 | (9) 傾斜した中間層をもつ供試体の一軸圧縮強度とその破壊機構について                | 東北大学工学部 佐武正雄・伊藤 駿・〇山崎芳徳                            |
| 15.45~16.15 | 討 議 (7)~(9)  |  |

### 第 2 日：2 月 28 日(金)

- |             |   |                                 |
|-------------|---|---------------------------------|
| 9.30~9.55   | (10) ベンチカット発破による岩盤変動の電氣的測定                          |                                 |
|             | 京都大学工学部 吉住永三郎・入江 恒爾・鹿島建設 佐藤忠五郎・鹿島建設技術研究所 〇谷本 治重     |                                 |
| 9.55~10.20  | (11) 矢作アーチダムの基礎岩盤掘削における爆破振動測定                       | 鹿島建設 佐藤忠五郎・雑喉 謙・〇梅田貞夫・松井正州・井保武寿 |
| 10.20~10.40 | 討 議 (10)~(11)                                       |                                 |
| 10.40~10.50 | 休 憩   |                                 |
| 10.50~11.15 | (12) 奈川渡ダムの断層処理について                                 | 東京電力梓川水力総建設所 藤井 敏夫              |
| 11.15~11.40 | (13) 下笠ダムの高圧グラウチング                                  | 建設省九州地建 副島 健・建設省土木研究所 〇花籠 秀輔    |
| 11.40~12.00 | 討 議 (12)~(13)                                       |                                 |
| 12.00~13.00 | 昼 食・休 憩   |                                 |
| 13.00~13.25 | (14) 破壊音を応用した地すべりの予知                                | 鹿島建設技術研究所 〇渋谷長美・田村 計・岡林信行       |
| 13.25~13.50 | (15) 変状トンネルの問題                                      | 国鉄鉄道技術研究所 高橋彦治・〇飯塚 全・高木 盛男      |
| 13.50~14.10 | 討 議 (14)~(15)                                       |                                 |
| 14.10~14.20 | 休 憩   |                                 |
| 14.20~14.45 | (16) 喜撰山発電所の地下空洞掘削に伴う空洞周辺の地山の変形について                 | 関西電力喜撰山建設所 吉村 清宏                |
| 14.45~15.10 | (17) 粘塑性地山内でのトンネル覆工への臨時的応力の解析法                      | 電力中央研究所 〇林 正夫・北原義浩・日比野敏         |
| 15.10~15.30 | 討 議 (16)~(17)                                       |                                 |
| 15.30~15.40 | 休 憩   |                                 |
| 15.40~16.40 | [特別講演] International Symposium on Rock Mechanics 報告 | 建設省土木研究所 飯田 隆一                  |
| 16.40~17.10 | 映 画「礎—梓川電源開発の記録—」                                   |                                 |
| 17.10~17.20 | 閉会あいさつ  | 土木学会岩盤力学委員会副委員長 畑野 正            |

◎講演概要：参加者の便宜のため当日会場にて実費頒布いたしますので、ご必要の方はお買求め下さい。(価格未定)

## 第 10 回地震工学研究発表会講演募集

下記により第 10 回地震工学研究発表会を開催いたしますので、講演ご希望の方は、ふるってご応募下さい。

1. 期 日：1969 年 7 月 15 日(火)、16 日(水)
2. 会 場：土木学会土木図書館講堂
3. 募集規定：
  - (1) 講演内容：理論、実験、耐震設計の実測、復旧工事、震害等
  - (2) 申込方法：3 月 31 日(月)までに題目、講演者氏名(連名の場合は登壇者に〇印をつける)、勤務先を明記し、土木学会耐震工学委員会宛お申込み下さい。

北海道支部行事案内 (郵便番号 060 札幌市南1条西2丁目 勸銀ビル5階)  
電 (0122) 25-7038

(1) 第5回講演会 (共催土質工学会支部)

◀ 2月14日(金) ▶

1. 期 日: 1969年2月14日(金) 13.05
2. 会 場: 札幌市民会館
3. 時間・題目・講師

- (1) 13.10~14.40 札幌オリンピック競技施設の紹介
- (2) 14.40~16.10 都市と交通

財団法人 札幌オリンピック冬期大会組織委員会事務局施設部長 佐渡 博夫  
北海道工学部教授 工博 小川 博三

4. 入場無料: 多数の聴講を歓迎します。

(2) 研究発表会

◀ 2月28日(金) ▶

1. 期 日: 1969年2月28日(金)
2. 場 所: 札幌市民会館
3. 発表内容:

第1会場 (札幌市民会館2階1号室)

- |               |   |                                |                    |
|---------------|---|--------------------------------|--------------------|
| ① 9.45~10.00  | 斜張橋の挑度理論について(第2報)                             | 北大工学部 渡辺 昇・日立造船(株) 多田 和夫・北大大学院 | ○工藤 明              |
| ② 10.00~10.15 | 高橋脚とタワーの地震応答解析について                            | 北大工学部 渡辺 昇・日立造船(株) 多田 和夫・北大大学院 | ○川口 雄常             |
| ③ 10.15~10.30 | デルタ関数による多質点系の応答解析                             | 北大工学部                          | 薄木 征三              |
| ④ 10.30~10.45 | 地動波周期が構造物の応答スペクトルに及ぼす影響                       | 北大工学部                          | 渡辺 昇               |
| ⑤ 10.45~11.00 | ヒンデで連結された2本箱桁を有するコンクリート桁橋のねじりの影響を考慮した荷重分配について | 北大大学院                          | 佐伯 昇               |
| ⑥ 11.00~11.15 | トラスを壁要素とする三角形断面部材の曲げについて                      | 室蘭工大 能町純雄・函館ドック(株)             | ○小針 憲司             |
| ⑦ 11.15~11.30 | 箱桁の断面変形が固有振動におよぼす影響                           | 室蘭工大                           | 能町 純雄・○尾崎 毅        |
| ⑧ 11.30~11.45 | 曲線折板による円形曲線桁の解法                               | 室蘭工大                           | 能町 純雄・松岡 健一・○吉田 純一 |
| ⑨ 11.45~12.00 | 曲線格子桁の固有振動について<br>(昼食休憩)                      | 室蘭工大                           | 能町 純雄・○岡村 忠夫       |
| ⑩ 13.00~13.15 | 5径間連続合成ゲタの設計と架設(新石狩大橋)                        | 札幌開建                           | 高橋 陽一・○新山 惇        |
| ⑪ 13.15~13.30 | 橋台前面において護岸を前提とする河川、水路等に架設する構築下部低層工法の設計、施工報告   | 小樽開建                           | 澤田 康則              |
| ⑫ 13.30~13.45 | 水力発電所の鋼構造物の安全度調査について                          | 北電土木部                          | 小林 晃・○弥勒院輝明        |
| ⑬ 13.45~14.00 | 直交異方性平行四辺形板の曲げについて                            | 北大工学部                          | 奥村 勇               |
| ⑭ 14.00~14.15 | 長径間ゲルバー式曲線連続トラス橋の電子計算機による二次応力の計算<br>(休憩15分間)  | 室蘭工大                           | 中村作太郎              |
| ⑮ 14.30~14.45 | 曲線格子桁橋の構構の影響                                  | 北大工学部                          | 稼農 知徳              |
| ⑯ 14.45~15.00 | 5径間連続曲線桁(無意根大橋)の動的地震力解析について                   | 開発局土試                          | 外崎 忍也              |
| ⑰ 15.00~15.15 | 弾性支承を有する連続曲線桁について                             | 道開発コンサルtant(株)                 | 勝俣 征之              |
| ⑱ 15.15~15.30 | 塔頂のケーブル支承条件の差による吊橋の構造特性について                   | 北大工学部                          | 渡辺 昇・○杉田 卓男        |

第2会場 (札幌市民会館2階3号~4号室)

- |               |  |                       |                               |        |
|---------------|--|-----------------------|-------------------------------|--------|
| ① 9.45~10.00  | 水文学の一手法としての周波数特性のベクトル表示                              | 北大工学部                 | 藤田 達博                         |        |
| ② 10.00~10.15 | 湖口水路における潮汐の線形解—広幅員—様水深水路の場合—                         | 室蘭工大                  | 近藤 徹郎                         |        |
| ③ 10.15~10.30 | クノイド波理論の二、三の特性と適用限界について                              | 北大工学部 佐伯 浩・泉 洵・○新井 泰澄 | ○藤 繁郎                         |        |
| ④ 10.30~10.45 | ストークス波の適用限界について                                      | 北大工学部                 | 佐伯 浩・○泉 洵・新井 泰澄・花安 繁郎         |        |
| ⑤ 10.40~11.00 | 回折の影響を受ける水域の波高分布について                                 | 室蘭工大                  | 境 隆雄・近藤 〇郎・○寺島 拓郎             |        |
| ⑥ 11.00~11.15 | 硝化汚泥のNH <sub>4</sub> <sup>+</sup> の酸化におよぼす各種有機化合物の影響 | 栗田工業(株)研究所            | ○宮地 有正・杉本 和雄                  |        |
| ⑦ 11.15~11.30 | 石油化学系工場廃水の活性汚泥処理                                     | 栗田工業(株)研究所            | 関川 泰弘・○立花 一豊                  |        |
| ⑧ 11.30~11.45 | ゾーン内交通量の推定に関する研究—貨物輸送について—                           | 北大工学部                 | 五十嵐日出夫                        |        |
| ⑨ 11.45~12.00 | 歩行者の横断待ち解析に関する一考察<br>(昼食休憩)                          | 北大工学部                 | 山村 悦夫                         |        |
| ⑩ 13.00~13.15 | 交通流のとらえ方についての一考察                                     | 北大工学部                 | 板倉 忠三・加来 照俊・○小笠原晋二・今 信三・小林 徳弘 |        |
| ⑪ 13.15~13.30 | 地域の道路網特性   | 北大大学院                 | 菊池 慎也                         |        |
| ⑫ 13.30~13.45 | 地域人口分布と交通に関する基礎的研究                                   | 北大大学院                 | 秋口 守国・○熊谷 勝弘                  |        |
| ⑬ 13.45~14.00 | 雪氷路面上のオベリ事故に関する統計的分析                                 | 北大工学部                 | 板倉 忠三・室蘭工大                    | ○齋藤 和夫 |
| ⑭ 14.00~14.15 | タール合材の基礎的性質について<br>(休憩15分間)                          | 室蘭工大                  | 新田 登                          |        |
| ⑮ 14.30~14.45 | 微粉砕したガラス質凝灰岩のポゾラン活性について                              | 函館工高専                 | ○徳田 弘・林 俊彦                    |        |
| ⑯ 14.45~15.00 | 函館周辺に産する骨材の品質について                                    | 函館工高専                 | ○林 俊彦・徳田 弘                    |        |
| ⑰ 15.00~15.15 | 仙境覆道の設計施工について  | 道開発コンサルtant(株)        | 木元 喬之・高谷 弘・○鈴木 欣治             |        |

3. 以上発表内容は“研究発表会論文集第25号”として本印刷し、支部所属会員には無料・一般には有料頒布します。

(2) 講習会 (橋梁の耐震設計問題)

◀ 3月12日 (水) 9.20~ ▶

1. 日 時: 1969年3月12日 (水) 9.20
2. 会 場: 札幌市民会館2階1号室 (150人収容)
3. 講習内容:
  - ① 9.30~10.45 地震の概論 (地震とは何か, 地震の記録計など)
  - ② 10.45~12.00 地震の物理探査法とその応用 (振動の実験, データの整理方法など)
  - ③ 12.45~14.00 構造物の振動理論 (ある程度基礎的なもの)
  - ④ 14.00~15.15 計算機による橋の地震応答計算法 (アナログ, デジタル計算機の応用例など)
  - ⑤ 15.15~16.30 現場における橋の振動実験 (現場での振動実験の例)
4. 受講料: 無料 ただしテキストは実費頒布

北大理学部 田 望  
 北大理学部 田治米鏡二  
 北大工学部 芳村 仁  
 北大工学部 渡辺 昇  
 開発局土試 井藤 昭夫

東北支部行事案内 (郵便番号 980 仙台市北三番丁 124 東北地方建設局企画室内)  
 電話 (022) 25-2171

(1) 昭和 43 年度講演会

◀ 2月20日 (木) 10.00~ ▶

1. 日 時: 1969年2月20日 (木) 10.00~17.00
2. 講演内容:
  - 13.00~14.00 東北の地域開発
  - 14.00~15.00 情報革命と経済管理
  - 15.00~16.30 映 画: 十勝沖地震・青函トンネル
3. 会 場: 日之出会館 (仙台駅前) 7階ホール
4. 定 員: 400 名
5. 聴 講: 無 料

講演者未定  
 講演者未定

(2) 研究発表会

◀ 2月21日 (金) 9.00~ ▶

1. 日 時: 1969年2月21日 (金) 9.00~17.00
2. 会 場: 東北大学工業教員養成所 (仙台市桜小路)
  - 第I部門 4階大講義室
  - 第II部門 3階中講義室
3. 発表申込: 1969年1月20日までに最終学歴・勤務先・氏名・発表題名を支部あて申込んで下さい。  
 1人1題とします。
4. 発表時間: 1題につき約 20 分 (質問時間を含みます。スライド使用はできません。)
5. 原稿提出その他:
  - ① 原稿はオフセット印刷しますので, 発表申込者は支部から原稿用紙を送ります。
  - ② 原稿用紙は1ページ1620字詰1題につき2ページまたは4ページとします。
  - ③ 原稿提出 1969年1月31日までに東北支部へ
6. 申 込 先: 仙台市北三番丁 土木学会東北支部 (電 25-2171)
7. テキスト: 無 料

関東支部行事案内 (郵便番号 160 東京都新宿区四谷1丁目 土木学会総務課内)  
 電話 (03) 351-4133

(1) 「東京湾の開発」講演会

◀ 2月14日 (金) 10.20~ ▶

就業構造の高度化に伴う人口および企業の大都市への集中により, 首都圏は拡大の一途をたどっているが, 首都圏構想において東京湾の占める比重はきわめて大きなものである。

東京湾の開発については, これまで画期的なプランがいくつか提案されているが, 地域開発, 道路, 港湾および鉄

道の各分野において、現在かなり具体化している計画を中心に、それぞれ直接の担当者がその構想を解説する講演会を開催します。多数ご来聴をのぞみます。

1. 日 時：1969年2月14日(金) 10.20～17.00
2. 場 所：土木学会土木図書館講堂
3. 定 員：150名
4. 参加費：無 料
5. プログラム：

- |             |                                |                      |
|-------------|--------------------------------|----------------------|
| 10.20～10.30 | あいさつ                           | 土木学会関東支部長            |
| 10.30～12.00 | 東京湾の開発計画概要について                 | 建設省計画局地域計画課長 今井 勇    |
| 13.00～14.20 | 東京湾湾岸道路について                    | 建設省道路局道路経済調査室長 井上 孝  |
| 14.30～15.50 | 東京湾の開発について                     | 運輸省港湾局計画課長 竹内良夫      |
| 16.00～17.00 | 首都圏における鉄道貨物輸送計画について—東京湾湾岸鉄道計画— | 国鉄本社建設局停車場第一課長 横山 浩雄 |

6. 申 込：往復はがきでお申込み下さい。返信用はがきを参加券としてお送りいたします。満員になり次第締切ります。

## (2) 「総武線線増工事と地下鉄5号線試乗」見学会

◀ 3月26日(水) 9.00～ ▶

下記要領で見学会を行ないますので、ふるってご参加下さい。

1. 日 時：1969年3月26日(水) 9.30～16.00
2. 集合・解散場所：未 定
3. 見学内容：総武線線増工事のうち東京駅前などの主要工事の見学と地下鉄5号線の西船橋・東陽間での試乗を行ないます。
4. 定 員：50名
5. 参加費：未 定
6. 申込方法その他：詳細は会誌2月号に発表します。(予約申込者は優先受付いたしますから、関東支部あてご連絡下さい。)

## 関西支部行事案内 (郵便番号 537 大阪市東成区中道元町1丁目 149 番地) (電話 大阪(06) 981-2510, 振替口座大阪 82599 番)

### (1) 工事安全対策に関する講習会

◀ 2月25日(火)～26日(水) ▶

1. 日 時：1969年2月25日(火)、26日(水)の両日 10.00～16.00
2. 場 所：大阪科学技術センター 8階大ホール 電話大阪(06) 443-5321  
大阪市西区靱1丁目118番地 (地下鉄3号線信濃橋下車北へ150m 靱公園北東角)
3. 題目と講師

#### 第 1 日：2月25日(火)

- |                              |                             |
|------------------------------|-----------------------------|
| 開 会 換 拶                      | 土木学会関西支部長 米谷 栄二             |
| 10.00～11.00 ① 高気圧下作業における安全対策 | 白石基礎工事(株)大阪支店工務課長 平川 脩士     |
| 11.00～12.00 ② 発破作業上の安全対策     | 鹿島建設(株)土木工務部長 工博 佐藤忠五郎      |
| 13.00～14.00 ③ 鉄道工事における安全対策   | 国鉄大阪工務局長 北条 武徳              |
| 14.00～15.00 ④ 地下鉄工事における安全対策  | 大阪市交通局高速鉄道建設本部第三建設事務所長 竹山 喬 |
| 15.00～16.00 ⑤ トンネル工事における安全対策 | (株)大林組土木本部技術部長 工博 坂本 貞雄     |

#### 第 2 日：2月26日(水)

- |                                  |                                |
|----------------------------------|--------------------------------|
| 10.00～11.00 ⑥ 機械化土工における安全対策      | ブルドーザ工事(株)喜彌山ロックフィルダム作業所長 福井 毅 |
| 11.00～12.00 ⑦ 既設構造物に対する近接工事の安全対策 | 阪神高速道路公団工務部工務課第一課長 上林 達郎       |
| 13.00～14.00 ⑧ 橋梁架設上の安全対策         | 日立造船エンジニアリング(株)鉄構部長 加藤 真三      |
| 14.00～15.00 ⑨ 高所工事における安全対策       | (株)大林組労務課長 砂田 道一               |
| 15.00～16.00 ⑩ 海上工事における安全対策       | 第三港建神戸港工事事務所長 日下 宏             |
| 閉 会 換 拶                          | 土木学会関西支部幹事長 伊藤 富雄              |

4. 定 員：300名(先着順)
5. 参加費：会員 1 000 円(テキスト代を含む) 非会員 1 500 円  
ただし講習会当日は 1 500 円 となりますので期限内に前納して下さい。
6. 申込期限：1969年2月8日(土)
7. 申込方法：参加希望者は勤務先、連絡先、氏名および会員の種別も明記(様式随意)し、上記参加費を添えて土木学会関西支部へお申し込み下さい。参加者には参加証をお送りしますから当日は必ずご持参下さい。参加証のない人は入場をお断りします。

(注)都合により講師の順序に変更があるかも知れませんのでご了承下さい。

(2) 若い会員懇親パーティ (第2回)

若い会員相互の親睦をはかりたいと存じますので、多数ご参加のうえ、自由なご発言をお待ち申し上げます。

1. 日 時: 1969年2月25日(火) 16時よりの予定(工事安全対策講習会第1日終了後)
2. 場 所: 大阪科学技術センター8階小ホール 電話大阪(06)443-5321  
大阪市西区靱1丁目118番地(地下鉄3号線信濃橋下車北へ150m 靱公園北東角)
3. 参加者資格: 39才未満の土木学会会員
4. 定 員: 50名(先着順)
5. 参加費: 無 料
6. 申込期限: 1969年2月8日(土)
7. 申込方法: 参加希望者は勤務先, 連絡先および氏名を明記(様式随意)して土木学会関西支部へお申し込み下さい。参加証をお送りします。

(3) 工程管理に関する講習会

◀ 3月18日(火)~19日(水) ▶

1. 日 時: 1969年3月18日(火), 19日(水)の両日 9.00~17.00
2. 場 所: 大阪科学技術センター4階401号 電話 大阪(06)443-5321  
大阪市西区靱1丁目118番地(地下鉄3号線信濃橋下車北へ150m 靱公園北東角)

3. 題目と講師:

(第1日)

	開 会 換 拶	土木学会関西支部長	米谷 栄二
9.00~10.00	① これからの工程管理の考え方	国鉄中央鉄道学園学長室調査役	矢部 真
10.30~12.00	② 同 上	日本道路公団大阪支社津山工事事務所長	永吉 寿男
13.00~17.00	③ ネット・ワーク手法の計算および演習	京都大学教授工学部 工博	吉川 和広
		および建設コンサルタンツ協会大阪支部技術研究委員会施工管理分科会	

(第2日)

10.00~11.00	④ 安治川水門建設における工程管理	大阪府土木部高潮課長	那智 俊雄
11.00~12.00	⑤ 港湾, 空港工事における工程管理	第三港湾建設局工務第一課長	城所 正雄
13.00~14.00	⑥ 道路工事における工程管理	近畿地建第二阪神国道工事事務所長	片山 重夫
14.00~15.00	⑦ 橋りょう下部工事における PERT 導入例	中央復建コンサルタンツ(株)第一設計部次長	柳田 保男
15.00~16.00	⑧ 地下駅構築における PERT 導入例	(株)奥村組技術研究所調査部長	河原畑良弘
16.00~17.00	⑨ 万国博覧会会場建設における PERT 導入例	日本万国博覧会協会建設部	前田 美穂
	閉 会 換 拶	土木学会関西支部幹事長	伊藤 富雄

4. 定 員: 160名(先着順)
5. 参加費: 会員 1100円(テキスト代を含む) 非会員 1600円(テキスト代を含む)  
ただし講習会当日は1600円となりますので期限内に前納して下さい。
6. 申込期限: 1969年3月1日(土)
7. 申込方法: 参加希望者は勤務先, 連絡先, 氏名および会員の種別を明記(様式随意)し上記参加費を添えて土木学会関西支部へお申し込み下さい。参加者には参加証をお送りしますから当日は必ずご持参下さい。参加証のない人は入場をお断りします。  
(注) 都合により講師の順序に変更があるかも知れませんのでご了承下さい。

(4) 若い会員懇親パーティ (第3回)

◀ 3月18日(火) ▶

若い会員相互の親睦をはかりたいと存じますので、多数ご参加のうえ、自由なご発言をお待ち申し上げます。

1. 日 時: 1969年3月18日(火) 16.00よりの予定(工程管理講習会第1日終了後)
2. 場 所: 大阪科学技術センター6階603, 604号 電話大阪(06)443-5321番  
大阪市西区靱1丁目118番地(地下鉄3号線信濃橋下車北へ150m 靱公園北東角)
3. 参加者資格: 39才未満の土木学会会員
4. 定 員: 50名(先着順)
5. 参加費: 無料
6. 申込期限: 1969年3月1日(土)
7. 申込方法: 参加希望者は勤務先, 連絡先および氏名を明記(様式随意)して土木学会関西支部へお申し込み下さい。参加証をお送りします。

(5) 関西支部年次学術講演会 (昭和 44 年度)

◀ 5 月 11 日 (日) ▶

1. 日 時: 1969 年 5 月 11 日 (日) 9.00~17.00
2. 場 所: 神戸大学工学部 電話神戸 (078) 87-5131 神戸市灘区六甲台町 1  
 国鉄六甲道または阪急電鉄六甲より市バス⑥六甲台行鶴甲口下車, ⑥六甲ケーブル行教養部前下車  
 プログラム, 講演概要の頒価およびその他の事項については学会誌 4 月号 (一部 3 月号) に掲載の予定です。  
 講演ご希望の方はつぎの講演申込要領をご覧のうえお申し込み下さい。

年次学術講演会申込要領

1. 講演申込方法: 講演希望者は申込カード (4 枚複写綴) に部門, 題目, スライドの有無, 勤務先, 会員種別, 学位, 氏名 (連名の時は講演者に○印をつける), 卒業学校名および年次, 連絡先を明記のうえ 2 月 15 日 (土) までに土木学会関西支部へ必着するよう提出して下さい。申込カードは関西支部へ請求して下さい。
2. 講演内容: 講演は未発表のもので 1 人 1 題にかぎります。
3. 講演時間: 1 題につき 15 分の予定です。
4. 講演部門: つぎの 4 部門にわけますが, 都合により講演者の了承を得たうえで部門を変更させていただくことがあります。  
 第 1 部門: 構造力学, 構造, 橋梁等  
 第 2 部門: 水理学, 水文学, 河川, 港湾, 海岸, 発電水力, 衛生工学等  
 第 3 部門: 土質力学, 基礎工学, 土木機械, 施工等  
 第 4 部門: 鉄道, 道路, コンクリートおよび鉄筋コンクリート, 土木材料, 都市計画, 空港, 測量等
5. 原稿提出要領: 講演申込者にはつぎの要領で講演概要の原稿を提出していただきます。  
 1. 講演概要は講演者の原稿をそのまま縮写してオフセット印刷としますから必ず所定の用紙をご使用下さい。  
 2. 用紙は執筆要領 (原稿の書き方) とともに講演申込者に関西支部からお渡します。  
 3. 原稿は 4 月 5 日 (土) (期限厳守) までに関西支部へ必着するようお送り下さい。  
 4. 原稿の長さは 1 題につき 2 ページ (図表, 写真を含め 1 ページ 1 480 字詰) を原則とします。超過する場合は 2 ページまで, 1 ページにつき 1 000 円の製版料を申し受けます。
6. 講演概要: 講演者 (○印) には無料, 一般は有料, 別刷は講演者 (○印) には 30 部無料で差し上げますが, それ以外の取扱いはいたしません。

(付) テキスト頒布について

■ 公害振動測定法 (案) (騒音・振動委員会編)	頒価	無料	送料	35 円
■ 騒音・振動公害	〃	1 000 円	〃	100 円
■ 関西の土木 100 年 (支部創立 40 周年記念出版)	〃	700 円	〃	100 円
■ 写真測量とその応用	〃	800 円	〃	80 円
■ 土木工学における動的現象の計測とデータ処理	〃	700 円	〃	80 円
■ 水理学・水文学における最近の進歩	〃	1 000 円	〃	100 円

上記テキストご希望の方は頒価に送料を添えて土木学会関西支部 (振替口座利用) へお申し込み下さい。

中国四国支部行事案内 (広島市基町 10-3 自治会館内 土木学会中国四国事務局)  
 電話広島 (0822) 61-2666 または広島市二葉の里 国鉄  
 中国支社施設部工事課 電話広島 (0822) 61-2251 内線 242)

昭和 43 年度 中国四国支部講演会および講習会

◀ 2 月 5 日 (水) ▶

- 主 催: 土木学会中国四国支部  
 共 催: 土質工学会中国支部
1. 期 日: 1969 年 2 月 5 日 (水) 10.00~16.30
  2. 場 所: 広島合同庁舎 2 階会議室 広島市八丁堀 6 番地 30 号
  3. 題目と講師:

- ① 広島県の土木行政について
- ② 最近の設計近代化について
- ③ 最近の土質力学の進歩について
- ④ 広島周辺地域における幹線道路計画について

広島県土木建築部長 田辺 義亮  
 国鉄構造物設計事務所長 工博 西亀 達夫  
 広島大学教授 工博 網干 寿夫  
 中国地建広島国道事務所長 新居 英一

西部支部行事案内 (福岡市薬院2丁目 14-21 電話 (092) 78-3714)

(1) 昭和 43 年度支部総会

◀ 2月23日(日) 9.00~ ▶

昭和 43 年度支部総会を下記のとおり開催します。本掲載をもって、案内といたしますので、会員多数ご出席下さい。

1. 日 時: 1969 年 2 月 23 日(日) 9.00~
2. 場 所: 福岡市箱崎 九州大学工学部防音教室
3. 備 考: 総会終了後研究発表会を開催します

(2) 昭和 43 年度研究発表会

◀ 2月23日(日) 10.00~ ▶

1. 日 時: 1969 年 2 月 23 日(日) 10.00~
2. 場 所: 福岡市箱崎 九州大学工学部防音教室
3. 参 加 料: 無料, 論文集代 1 300 円(当日払)
4. プログラム: 第1会場(応用力学・構造力学・橋梁等; 23 題)

- |                                   |                         |
|-----------------------------------|-------------------------|
| ① アルミニウム片持ばりの弾塑性有変形について           | 九大 山崎徳也・○太田俊昭           |
| ② ラーメンの曲げクリープ                     | 九大 山崎徳也・○長崎大 樺木 武       |
| ③ たわみの影響を考慮したアーチの弾塑性解析            | 九大 山崎徳也・○石川信隆           |
| ④ 合成桁の二次元クリープ解析                   | 九大 山崎徳也・○彦坂ひろし          |
| ⑤ 積載荷重による梁の固有周期の変化について            | 九大 山崎徳也・○長崎大 崎山 毅       |
| ⑥ 任意形孔をもつ任意形板の座屈荷重算定法             | 九大 山崎徳也・○後藤憲之輔          |
| ⑦ 走行荷重を受ける弾性基礎上の板の応力解析            | 九大 山崎徳也・○横田 漢           |
| ⑧ 曲げ軸力を考慮したラーメンの動的弾塑性解析           | 九大 山崎徳也・○黒木健実           |
| ⑨ 全歪理論による円孔曲りばりの弾塑性解析             | 九大 山崎徳也・太田俊昭・○片山 忠      |
| ⑩ 扇形板の自由振動                        | 九大 山崎徳也・○金子忠男・長崎大 樺木 武  |
| ⑪ 一方向連続板の温度応力                     | 九大 山崎徳也・彦坂ひろし・○葛城幸一郎    |
| ⑫ 剛域を考慮した有梁板の解析                   | 九大 山崎徳也・太田俊昭・○馬場先勝弘     |
| ⑬ 斜交配筋斜スラブの曲げ特性について               | 九大 山崎徳也・彦坂ひろし・○古川恒雄     |
| ⑭ くり近し荷重を受けるラーメンの弾塑性安定            | 九大 山崎徳也・石川信隆・○松隈秀信      |
| ⑮ 無梁板の座屈(周辺が単純支持され, 中間にて点支持される場合) | 九大 山崎徳也・○山田喜四夫・長崎大 樺木 武 |
| ⑯ 非正八角形孔を有する I 型ばりの孔縁応力           | 九大 山崎徳也・後藤憲之輔・○川島基義     |
| ⑰ 有限要素法の改良に関する一試案                 | 九大 山崎徳也・太田俊昭・○坂本紘二      |
| ⑱ 応力法による一方向連続無梁板の解法               | 九大 山崎徳也・○高橋和雄・長崎大 樺木 武  |
| ⑲ 走行荷重による連続円形曲り梁の動的応答             | 九大 山崎徳也・○千口岩敏男・長崎大 崎山 毅 |
| ⑳ PC 桁のクリープ挙動について                 | 九大 山崎徳也・彦坂ひろし・○羽根悟朗     |
| ㉑ 鉄筋コンクリート スラブの乾燥収縮曲げ応力解析         | 九大 山崎徳也・彦坂ひろし・○照谷慎一郎    |
| ㉒ 六角形孔を有する I 型ばりの最適孔形状            | 九大 山崎徳也・後藤憲之輔・○木下紀男     |
| ㉓ 十字形および正多角形断面棒のおじり解析             | 九大 山崎徳也・後藤憲之輔・○中沢隆雄     |

第 2 会場(応用力学・構造力学・橋梁・海岸工学・発電水力・河川工学等; 19 題)

- |                                       |                          |
|---------------------------------------|--------------------------|
| ① 橋梁の捩れ振動                             | 九大 小坪清真・原田謙二・○橋本和治       |
| ② 進行地震波による桁橋の過度振動                     | 九大 小坪清真・○原田謙二・城戸繁幸       |
| ③ 走行荷重による橋梁振動のスペクトル解析                 | 九大 小坪清真・荒牧平治・原田謙二・○淵田政信  |
| ④ 橋脚基礎地盤の地震時挙動の解析                     | 九大 小坪清真・○高西照彦            |
| ⑤ 高い橋脚を持つ連続トラス橋の橋軸と直角方向の地震応答          | 熊大 吉村虎蔵・○田久英明・佐伯鶴城校 庄司清美 |
| ⑥ 軟弱地盤における経済的な短径間橋梁について               | (建)九州地建 高橋 健二            |
| ⑦ 弾性ヒンジをもつ構造物の一解析法                    | 熊大 ○平井一男・古庄憲彦・森光 伝       |
| ⑧ 皮膜法に関する実験的研究——その応力, ひずみの関係について——    | 九大 村上 正・○斉藤利一郎・藤田寛孝      |
| ⑨ ザージタンクの新しい安定判別公式を与える自動制御系のパターンの作成研究 | 九州電力玄海調査所 村瀬 次男          |
| ⑩ 二重海岸の池内の水面振動について                    | 宮大 吉高 益男                 |
| ⑪ 本邦における確率雨量分布と降雨特性について               | 宮大 石黒政儀・○井上正春            |
| ⑫ 下水道計画の降雨と流出に関する実的研究(第3報)            | 宮大 石黒政儀・○伊藤澄夫・本山彰彦       |
| ⑬ 筑後川流域内の降雨の推計的性格(雨のふり方と雨量の地域分布性)     | 九大 篠原謹爾・○池田 茂            |
| ⑭ 冬季, 季節風による波の数値計算                    | 九大 井島武士・副島 毅・○田淵幹彦       |
| ⑮ 波浪スペクトルの発達について                      | 九大 井島武士・○大石敏文            |
| ⑯ 砕波帯における波の変形について                     | 九大 井島武士・松尾隆彦・○古賀一民・宇山藤博  |
| ⑰ 消波海岸に関する実験的研究                       | 九大 井島武士・松尾隆彦・○塩沢俊彦・有馬竜郎  |
| ⑱ 日本海における波向分布について                     | 九大 井島武士・松尾隆彦・○松本 司・鬼塚憲二  |
| ⑲ 連続フィルムによる波向および波長の確率分布に関する研究         | 九大 井島武士・松尾隆彦・○石川敏雄       |

第 3 会場(水理学・河川工学・衛生工学; 23 題)

- |                  |                          |
|------------------|--------------------------|
| ① 内部波のスペクトル特性    | 九大 糟東一郎・浜村 実・○橋本美喜男・島内正美 |
| ② 貯水地下流の河床低下について | 九大 平野宗夫・○小山弘純・上浜暉男       |

- ③ 段落部における流れの特性と浮流砂のまきこみについて 九大 椿東一郎・平野宗夫・○有田 真
- ④ 水制の機能について (第3報) —— 移動床における河床変動—— 九大 椿東一郎・○田原 誠
- ⑤ 河床変動の一計算法 九大 平野 宗夫
- ⑥ 湾曲部における水制の水はね作用について 九大 椿東一郎・平野宗夫・○田中耕一
- ⑦ 河床砂族の運動機構に関する研究 (第2報) 九大 椿東一郎・平野宗夫・○渡辺訓甫・栗林邦夫
- ⑧ 河川形態と河床との関連性について —— 筑後川を例として —— 九大 ○吉岡邦明・和佐野貞利
- ⑨ 弦混合河川における塩分侵入の数値計算法 九大 椿東一郎・栗谷陽一・古本勝弘
- ⑩ 周期的流出における乱流拡散 (第2報) 九大 栗谷陽一・古本勝弘・○島田 晋・相川光弥
- ⑪ 干拓背後地における綱目水路の不定流特性について 九大 上田年比古・(農) 農業土木試験所 ○植田昌明
- ⑫ 長方形浸透領域内の流線解析 九大 上田年比古・九産大 崎山正常・○砥板正昭
- ⑬ 複式堤体下における浸透流の解析 九大 上田年比古・松尾 哲・○幸島勝彦
- ⑭ 複合断面浸透領域内の暗渠排水量について 九大 上田年比古・松尾 哲・○有田建男
- ⑮ 長方形浸透領域内の未満水暗渠の取水水量について 九大 上田年比古・○松尾 哲
- ⑯ 気泡噴流による二層流の混合について 九大 栗谷陽一・○田中稔彦・北野義則
- ⑰ 甘露でん粉廃液処理に関する実験的研究 (第5報) 宮大 石黒政儀・○加藤善盛
- ⑱ 大淀川における水質変動と自浄作用について 宮大 石黒政儀・上野俊夫・○泥谷和意・山下順一
- ⑲ 河川の水質調査法 福大 坂梨 宏・○花島正孝・三好サチ子
- ⑳ フライアッシュ廃水の沈澱処理について 九大 上田年比古・九産大 ○加納正道・九電 永津忠治
- ㉑ 取水規準線による並列2貯水池の取水操作 九大 上田年比古・○小川康彦
- ㉒ 沈降するブロック粒子中の浸透について 九大 ○補田哲也・伊藤九一
- ㉓ 乱流中におけるブロックの成長と破壊の平衡について 九大 補田哲也・○江副章之介

第4 会場 (土質力学・基礎工学・施工等; 20 題)

- ① 繰返し荷重を受けるシラスの性状について 九大 山内豊聡・○村田秀一
- ② シラス盛土斜面の地震時における安定性について 宮大 ○藤本 広・浜谷武治・田中俊彦
- ③ 乱さないシラスの排水セン断特性について 鹿大農学部 春山 元寿
- ④ 圧密における間引き水圧の測定について 九大 山内豊聡・○安原一哉
- ⑤ 抽出的断面の模型試験による高速道路盛土の検討 (ボタ盛土の場合) 九大 山内豊聡・○時津俊次・青砥 宏
- ⑥ ヘドロによる築堤に関する基礎的検討 九大 ○山内豊聡・(通) 九州工業技術試験所 三浦哲彦
- ⑦ 鉛直荷重に対する抗先端反力係数について 九大 小坪清真・荒牧軍治・鳥野 清
- ⑧ 海底常時微動の測定と解析 九大 ○小坪清真・荒牧軍治・九工大 高西照彦
- ⑨ 地震時における斜組杭の挙動 九大 小坪清真・荒牧軍治・○川人達男
- ⑩ 地中構造物に対する水平地盤反力係数および減衰力の周波数特性 九大 小坪清真・○荒牧軍治・鳥野 清
- ⑪ 砂質盛土の斜面のスベリに関する模型実験 九大 内田一郎・○福田高明・神野典久・原田幸一
- ⑫ 砂とベントナイトの混合土のセン断特性 九大 内田一郎・○江頭素樹
- ⑬ 一土質安定処理材に関する基礎的研究 九大 内田一郎・○林重徳・セイロン留学生 チェリア J.
- ⑭ 節杭の支持力 (第2報) 九産大 石堂 稔
- ⑮ 鉄塔基礎の引抜き模型実験 九大 徳光善治・○平田登基男・九電 赤司六哉・永津忠治
- ⑯ 土質に及ぼす粘土鉱物の影響 (I) 陽イオン交換容量 九工大 村田 茂雄
- ⑰ 土粒子の比重試験について 九産大 石堂 稔・野間口明義・播摩康寛
- ⑱ 管内土の極限抵抗について 九産大 石堂 稔・○高橋清昭・古城静雄
- ⑲ 河川堤防の安定性と法面保護に関する土質調査について 宮大 藤本 広・杉山嘉信・宮崎国土開発 ○香月正直
- ⑳ 車型コンパクション工法について 佐伯建設 米津欽一・(運) 第四港運・奥村保英・楠本雅人

第5 会場 (コンクリートおよび鉄筋コンクリート・土木材料・道路・交通等; 21 題)

- ① 九州地方における砕石の実態調査 九大 徳光善治・谷脇鉄男・○江崎哲郎・九州地連 瀬戸一充
- ② 砕石コンクリートの分離に関する実験 九大 徳光善治・○文 済志・中村宗喜・大和竹史
- ③ 砕石コンクリートのワーカビリティと強度に関する実験 九大 石川達夫・松下博道・○藤村正人
- ④ 温度によるコンクリートの強度の変化に関する実験 力大 ○石川達夫・福大 森岡隆則・井上憲弘
- ⑤ 鉄筋引抜き試験におけるボンド応力分布に関する実験 九大 徳光善治・○松下博道・九工大 出光 隆
- ⑥ コンクリート模型スラブの押し抜き破壊試験 九大 石川達夫・文 済吉・○太田正彦
- ⑦ 軸方向集中荷重を受けるコンクリートパイプの応力分布に関する実験 九大 徳光善治・石川達夫・○大和竹史
- ⑧ セメント用湿和材の強度発現性について 八幡化学工業 富沢 年道
- ⑨ no-Concrete の強度について 八幡化学工業 阪本 好史
- ⑩ コンクリート柱に関する研究 九電総合研究所 是石 俊文
- ⑪ 岩石の非破壊試験について 熊大 井上 正康
- ⑫ 福岡市中央部における路外駐車場および路上駐車場の状況について 九大 ○内田一郎・清水建設 尾崎 明
- ⑬ 福岡市におけるパーソントリップについて 九大 内田一郎・○白土泰樹・古賀徳治・木山省三
- ⑭ 駐車容量を考慮しての大衆輸送機関利用客数の推定 福山コンサルタント ○横内輝彦・三宅秀隆・福岡紀彦・上野 勉
- ⑮ 中小都市における交通量の推定 福山コンサルタント ○田中信男・三宅秀隆
- ⑯ 九州各都市の SHECCO (生活環境) 調査と分析 (建) 九州地建 山本憲雄・中本 至・○日月俊昭
- ⑰ 現在 O・D パターンにみられる地域間の距離係数 ( $t_{ij}$ ) (建) 九州地建 藤井達也・福山コンサルタント ○三宅秀隆
- ⑱ 混雑交差点における交通現象について 九大 内田一郎・○中田勝康・飛鳥建設 井筒弘生
- ⑲ 自動車交通の時間変動に与える諸要素 (建) 九州地建 ○伊達安正・藤井崇弘
- ⑳ パーソントリップの自動車交通への変換 (建) 大臣官房 稲見俊明・九州地建 ○吉岡洋二・福山コンサルタント 三宅秀隆
- ㉑ 交通の車種構成とトリップ長との関係 (建) 大臣官房 稲見俊明・九州地建 ○針見武紀



第7回 原子力総合シンポジウム

◀ 2月16日(日)~17日(月) ▶

関係 34 学協会の共同主催、日本学術会議ほか5団体の後援で、原子力研究を軸として、専門分野を異にする研究者・技術者の知識の交流および普及をはかる目的で標記シンポジウムを下記により開催しますので、多数ご参加下さるようご案内いたします。

1. 期 日：1969年2月16日(日)~17日(月)
2. 会 場：国立教育会館(大会議室・中会議室)(東京都千代田区霞ヶ関)
3. 主な内容：

第1日：2月16日(日)

◎A 会 場(6階大会議室)

開 会 9.30~

開 会 の 辞  
接 拶

運営委員長 安 藤 良 夫  
日本原子力学会会長 大 山 松次郎  
(原子力委員) 与 謝 野 秀

1. 核拡散防止条約と原子力の平和利用(10.00~10.50)

座 長 大山松次郎

2. 動力炉の長期展望(11.00~11.50)

座 長 安 藤 良 夫

(東電) 脇 坂 清

— (昼休 12.00~13.00) —

3. 1970年代の研究炉(13.00~16.00)

座 長 (阪大・工) 吹 田 徳 雄

- (1) パルス中性子炉—その必要性と計画の概要—(30分)

(原研) 浜 口 由 和

- (2) 高熱中性子束炉—その必要性と計画の概要—(30分)

(原研) 八 剣 達 雄

- (3) 化学研究炉—その目的と構想—(20分)

(京大・工) 大 島 恵 一

◎B 会 場(6階中会議室)

4. 半導体検出器をめぐる最近の話題

座 長 (東大・工) 西 野 治

(原研) 阪 井 英 次

— (昼休 12.00~13.00) —

5. 原子炉耐圧部の破壊に対する安全性(13.00~16.00)

座 長 (明星大) 奥 田 克 己

- (1) 原子炉耐圧部の脆性破壊に対する安全性

- (2) 原子炉耐圧部の疲労破壊に対する安全性

- (3) ASMF 原子力配管基準案について

- (4) 原子炉格納容器の耐震強度について

第2日 2月17日(月)

◎A 会 場(6階大会議室)

6. 船用炉開発研究の現状(10.00~12.00)

座 長 (日立造船) 木 下 昌 雄

- (1) 船用炉の遮蔽に関する研究

- (2) 動揺時における船用炉動特性解析のための計算コードの開発研究

- (3) 船用炉用内装貫流式蒸気発生器に関する研究

— (昼休 12.00~13.00) —

7. 原子炉用タービン発電機の国産化について(13.00~15.00)

座 長 (東電) 寺 田 重 三郎

8. 原子力発電所の安全性と立地(15.00~17.00)

座 長 (成蹊大・定) 福 田 節 雄

- (1) 米国 AEC の原子力発電所設計指針

- (2) 原子力発電所の立地関連技術

- (3) 農林水産業と原子炉立地

◎B 会 場(6階中会議室)

9. 高速炉用核燃料の将来と問題点(10.00~12.00)

座 長 (阪大・工) 佐 野 忠 雄

- (1) 炭化物系核燃料の物理的諸性質とその評価

- (2) 炭化物系核燃料の化学的諸性質とその評価

— (昼休 12.00~13.00) —

10. トリオキザンの放射線照射(13.00~13.50)

座 長 (東大・工) 田 畑 米 穂

(原研・高崎研) 伊 藤 彰 彦

11. 核融合研究の目標と現状(14.00~17.00)

座 長 (東大・理) 宮 本 梧 楼

- (1) 核 融 合 炉

- (2) 核融合研究の現状

- (3) わが国における研究計画

4. その 他：詳細は運営委員会事務局(東京都港区新橋 1の1の13 TEL 591-1927 日本原子力学会気付)へお問合せ下さい

## 国際会議のお知らせ

### (1) 2nd Conference on "Civil Engineering in the Ocean"

1967年9月San Franciscoでの第1回会議に引き続き、第2回が1969年12月10~12日にFlorida州Miamiで開かれる。この会議ではとくに“海洋および大陸棚に対する環境工学”がとり上げられ、強調される諸問題はつぎのようなものである。

汚染、防禦および探検用の構造物と施設、種々の環境条件、海底居住と探査、輸送と補給、鉱物採取

論文提出希望者は1969年3月15日までに約250字のアブストラクトを下記に送ること。

Professor Wen F. Chang, Department of Civil Engineering, University of Miami, Coral Gables, Florida 33124, U.S.A.

### (2) National Conference on Applied Mechanics, Roumania

上記の会議が1969年6月23~27日Bucharestで開かれる。この会議は、General Mechanics, Mechanics of Solids, Mechanics of Fluidsの3部分から成る。論文締切期限は1969年4月1日、組織委員会はつぎのとおり。

Comitetul de Organizare

Str. Constantin Mille 15, Bucuresti 45, Roumania

### (3) International Symposium on FE Technique

1. 1969年6月の3日間

2. 論文提出申込:12月末 提出:2月末

3. J.H. Orgyris. Some Aspects of FE. Techniques. O.C. Zenkiewicz, New Linear Problems in Structural Mechanics. など数件の特別講演があります。

詳細 東大生研第2部 川井忠彦氏までご照会下さい。

### (4) 1969 World Congress on Precast Concrete

主 催: Association of Concrete Products Manufacturers in Holland

期 日: 1969年5月17日~23日

場 所: Amsterdam, Netherlands

連絡先: Organisatië Bureau Amsterdam

N.V., P.O. Box 7205

Amsterdam, Netherlands

## 構造物の設計における電子計算機の効果的利用に関する研究

### (第15回橋梁・構造工学研究発表会) 講演概要実費頒布について

12月13日土木学会図書館講堂において研究発表会を開催し、その講演概要を頒布したところ、非常に好評で全部売切れました。当日遅れて参加された方、御都合で参加できなかった方々から強い御要望がありましたので、再版し下記により販売することにいたしました。今回の再版数も僅少ですので希望者は至急お申込み下さい。

体 裁: B5判 オフセット印刷 160ページ

頒 価: 1,000円 送料 100円

申 込 先: 土木学会図書販売係

# 建設技術者のための測定法

新刊

土木学会誌に連載された講座「測定」を  
読者の要望にこたえて全面的に改筆・加  
筆した決定版です。

技術革新のいちじるしい現代では、あ  
らゆる現象を定量的にとらえて技術を推進  
してゆかなければなりません。

本書は建設工事に従事するすべての技術  
者に必須な知識である「測定」に関する  
初めてのユニークな単行本です。

## 目次

- 第1章 総説
- 第2章 測定器械 2.1 流体に関する測定器 2.2  
固体に対する測定器 2.3 電気変換測定装置  
2.4 電波・レーザー光および音波利用測定機  
2.5 記録装置
- 第3章 測定値の処理法 3.1 データのまとめ 3.2  
母集団と標本 3.3 確率分布 3.4 標本分  
布 3.5 推定 3.6 検定 3.7 実験式の  
あてはめ 3.8 周期的変動をする測定値の処  
理 3.9 現象解析上の統計処理
- 第4章 気象に関する測定 4.1 気圧に関する測定  
4.2 気温に関する測定 4.3 湿度に関する  
測定 4.4 蒸発に関する測定 4.5 霧に関  
する測定 4.6 雨に関する測定 4.7 雪に  
関する測定 4.8 風に関する測定
- 第5章 地盤に関する測定 5.1 土質に関する測定  
5.2 岩盤に関する測定 5.3 地すべり、砂  
防に関する測定
- 第6章 水に関する測定 6.1 流水に関する測定 6.2  
河川に関する測定 6.3 海岸に関する測定
- 第7章 構造物に関する測定 7.1 応力および振動の  
測定 7.2 ダムに関する測定 7.3 橋梁(上  
部工)に関する測定 7.4 橋梁(下部工)に  
関する測定 7.5 トンネルに関する測定
- 第8章 交通運輸に関する測定 8.1 道路に関する測  
定 8.2 鉄道に関する測定 8.3 空港に関  
する測定
- 第9章 衛生工学に関する測定 9.1 上水、工業用水  
に関する測定 9.2 下水道に関する測定 9.3  
水質汚濁に関する測定 9.4 大気汚染に関す  
る測定

A 5判 422ページ上製

■定 価 2000 円□

□会員特価 1800 円■

<送料は 110円です>

土木学会測定法編集小委員会

委員長 高田 孝信

委員 伊吹山四郎 奥田 穰

久保慶三郎 合田 良実

佐藤 裕 高橋 彦治

谷口 敏雄 服部昌太郎

樋口 芳朗

委員兼 柏谷 衛 土屋 昭彦

幹事 中村 英夫 林 正夫

山本 稔 渡辺 隆

## ◁ 申込方法 ▷

代金に送料を添え前金でお  
申込み下さい。まとまった  
お申込みは送料が安くなり  
ますのでご相談ください。

郵便番号 160

東京都新宿区四谷1丁目

電話 351-4131(直)

振替 東京 16828

取引銀行□第一銀行八重洲口

支店・四谷支店/住友銀行麹

町支店/三菱銀行四谷支店/

富士銀行四谷支店

 土木学会

# 土木技術者のための 振動便覧

重版

## 目次

### 基礎編

- 第1章 振動理論 1.1 自由度系の振動 1.2 多自由度系の振動 1.3 非線型振動 1.4 自励振動 1.5 不規則振動
- 第2章 地盤の振動 2.1 地盤を伝わる波動 2.2 弾性波の反射・屈折 2.3 境界を伝わる波動 2.4 地層の共振 2.5 上載荷重による地盤の振動 2.6 地盤のソイルプリズムとしての取り扱い 2.7 地盤の $k$ 値による取り扱い
- 第3章 構造物の振動 3.1 棒の縦振動 3.2 はりの振動 3.3 トラスの振動 3.4 連続ばり, ラーメンの振動 3.5 つり橋の振動 3.6 アーチの振動 3.7 膜・板の振動 3.8 Rayleigh-Ritzの方法
- 第4章 流体を含む系の振動 4.1 自由表面の振動 4.2 管路の振動 4.3 圧縮性流体 4.4 平板に沿うまたは管中の振動流 4.5 静水に接する物体の振動 4.6 流水中の物体の振動
- 第5章 振動測定および各種解析法 5.1 基本的事項 5.2 測定および試験計器 5.3 測定結果の解析 5.4 測定・解析の自動化
- 第6章 土と材料の動的性質 6.1 土の動的性質 6.2 岩石の動的性質 6.3 歴青材料の動的性質 6.4 コンクリートの動的性質 6.5 鋼の動的性質

### 応用編

- 第7章 地震による振動 7.1 地震学概論 7.2 地震津波 7.3 地震時の土圧 7.4 地震時の水圧 7.5 震度法と設計震度 7.6 静的耐震設計 7.7 動的耐震設計 7.8 耐震設計施工上の注意
- 第8章 風による振動 8.1 風の特長 8.2 風害 8.3 物体に作用する風力 8.4 風による構造物の振動 8.5 土木構造物の耐風設計 8.6 風洞実験
- 第9章 水による振動 9.1 静水の慣性抵抗圧 9.2 管路水路および開水路における振動 9.3 流水による水理構造物・水力機械の励振 9.4 キャピテーション 9.5 波の特性 9.6 セイシュおよび副振動 9.7 波による浮体の運動 9.8 波による構造物の振動
- 第10章 車による振動 10.1 車両振動の特性 10.2 鉄道線路の振動 10.3 道路の振動 10.4 橋梁の振動 10.5 地下埋設物の振動 10.6 走行面の整正限度
- 第11章 機械による振動 11.1 機械振動の特性 11.2 機械基礎の振動 11.3 防振法 11.4 流体機械の振動 11.5 建設機械の振動
- 第12章 衝撃的現象 12.1 なだれ 12.2 落石 12.3 落下水 12.4 発破 12.5 くい打ち 12.6 衝突
- 第13章 振動の利用 13.1 地質調査 13.2 振動による構造物調査 13.3 超音波の利用 13.4 常時微動の利用 13.5 振動を利用した工事用機械
- 付録 A1 耐震規定 A2 耐風設計規定 A3 構造物の固有振動数 A4 構造物の対数減衰率 A5 振動に対するじょ限度

A 5判 436ページ上製

■定価 2400円□

□会員特価 2000円■

<送料は 110円です>

土木学会土木振動学便覧編集小委員会

委員長 大地 羊三  
委員 伊藤 学 池田 康平  
石原 研而 大久保忠良  
表 俊一郎 久保慶三郎  
小坪 清真 小寺 重郎  
小林 芳正 後藤 尚男  
合田 良実 佐藤 吉彦  
佐野 豪一 桜井 彰雄  
白石 成人 武川 恵之助  
堤 一 中川 義徳  
伯野 元彦 林 聡  
日野 幹雄 平島 政治  
福地 合一 堀井健一郎  
宮崎 昭二 山田 善一  
山村 和也 芳村 仁

### <申込方法>

代金に送料を添え前金でお申込み下さい。まとまったお申込みは送料が安くなりますのでご相談ください。

郵便番号 160

東京都新宿区四谷1丁目

電話 351-4131(直)

振替 東京 16828

取引銀行 □第一銀行八重洲口支店・四谷支店 / 住友銀行麹町支店 / 三菱銀行四谷支店 / 富士銀行四谷支店



土木学会